



# ～京の花街を知る～ 舞妓・芸妓さん体験ツアー

RTC

# ★舞妓とは

- ▶ 唄や踊り、三味線等の芸で宴席に興（きょう）を添えることを仕事とする女性。
- ▶ 芸妓になる前の15歳から20歳くらいまでの未成年の女性。
- ▶ 舞妓として約5年間修行すると芸妓になれる。
- ▶ 京都の祇園等の花街（注1）の置屋に属し、お茶屋へ出勤する。

## 注

1. 花街...祇園甲部（ぎおんこうぶ）・先斗町（ぽんとちょう）・祇園東・上七軒・宮川町という五つの花街がある。

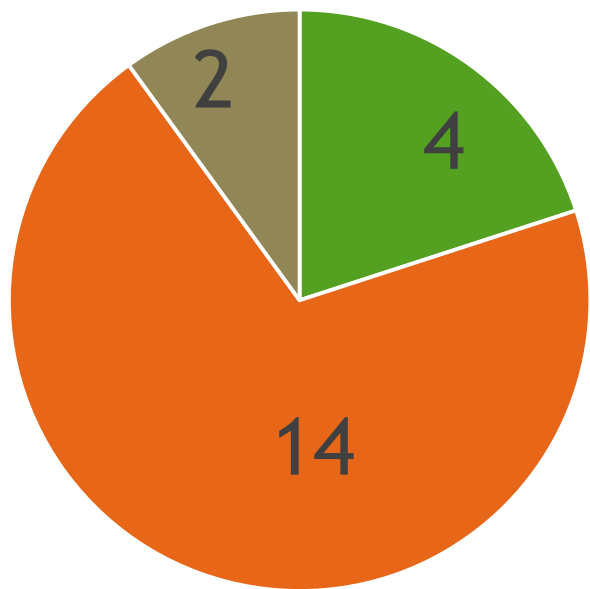


# ★テーマ

- ▶ 京都の花街は、無形文化遺産である。
- ▶ 花街はおもてなし文化の一大中心地として繁栄し、中でも舞妓、芸妓は最高のおもてなしを提供してきた。
- ▶ 普段あまり知られていない、舞妓、芸妓の生活や仕事を知り、京都の無形文化遺産を多くの人に理解してもらう。

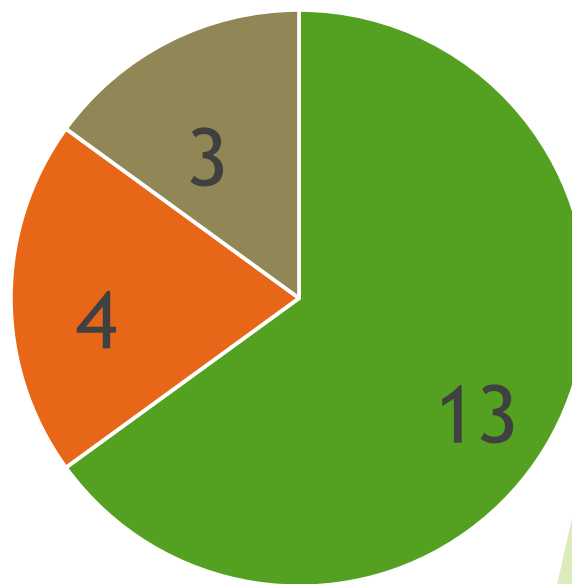
# ★アンケート結果（20人の若い男女対象）

舞妓、芸妓の印象



- 良い
- あまりよくない

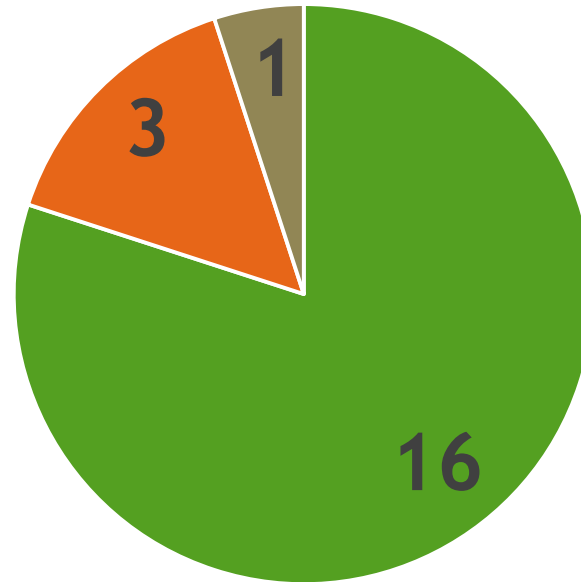
舞妓、芸妓に対して興味



- ある
- ない
- どちらでもない

# アンケート結果 2

舞妓、芸妓を知る機会があったら行きたいか



■ はい ■ いいえ ■ どちらでもない

# アンケート結果 3

Q 舞妓、芸妓体験ツアーでしたいことはなにか?

- ・ 着物を着て写真を撮る。
- ・ 現役の舞妓さんとお話したい。
- ・ 日本舞踊を見てみたい、舞ってみたい。
- ・ 座敷遊びを体験してみたい。
- ・ 舞妓、芸妓さんと一緒に観光地を見て回りたい。

# ★提案背景

舞妓、芸妓へのイメージに対するアンケートを取った結果…



大変そう、水商売のイメージとあまり芳しくない

だが、興味に関しては、約60%がある。また、舞妓、芸妓を知るツアーに関して大多数が行きたいと回答



実際の舞妓、芸妓をイメージだけで判断しておりその実態を知らないのでは？

- ▶ 若年層に、舞妓、芸妓の実態を伝え、イメージだけで判断しないようにするべきではないか？
- ▶ 伝統伎芸とおもてなしの担い手である芸妓が年々減少し、また、その愛らしい姿が京都の花街の象徴にもなっている舞妓のなり手不足も危惧されている。（※注2）と京都市でも唱えられている。

注2 京都市文化市民局文化財保護課<http://kyo-tsunagu.net/kagai/kagai-sentei/>



# ★ターゲット

- ・ 若年層
- ・ 外国人
- ・ その他（京都の花街文化に興味がある方）

## ★ターゲットが得られるもの

- ・ 普段敷居が高く、なかなか知る事のできない 舞妓、芸妓についての理解

# ★効果



現役の舞妓、芸妓から花街の文化を学ぶ事ができる



花街での伝統伎芸の継承者の確保（実態を理解せず、憧れだけで舞妓、芸妓の世界に入ってきてやめてしまう人も多い）

花街での舞妓、芸妓の減少という課題を改善するチャンスにつながる可能性もある。

# ★ツアー内容

9:00 説明

9:30 着付け

11:00 稽古体験 日本舞踊or三味線  
(初心者向けのもの)

12:00 昼食

13:00 散策（五花街）、散策しつつ現役の舞妓、  
芸妓の仕事や生活についてのお話、  
写真撮影

16:00 終了

# ★まとめ

現役の舞妓、芸妓さんと交流する機会を創り出していく事は、京都の花街文化の人材不足という問題に貢献できるのではないかと

舞妓、芸妓さんへの憧れを持ち就職を考えている人にとっても役立つと思われる。

# 参考文献

- ・京都市文化市民局文化財保護課

[http://kyo-tsunagu.net/kagai/geiko\\_maiko/](http://kyo-tsunagu.net/kagai/geiko_maiko/) (2016年12月3日)

- ・京都観光サイトオフィシャル 京都観光navi

<https://kanko.city.kyoto.lg.jp/wakaru/life/kagai/basis/file03.html>  
(2016年12月3日)

- ・太田達、平竹耕三『京の花街 ひと・わざ・まち』日本評論社

ご清聴ありがとうございました。

